

岩手県教育委員会

東日本大震災津波

記録誌

「教訓を後世に・岩手の教育」



岩手県教育委員会

東日本大震災津波

記録誌

「教訓を後世に・岩手の教育」

岩手県教育委員会
東日本大震災津波
記録誌

未来へ つなぐ

いわての教育・復興の歩み



普代村立普代小学校【そなえる】／減災のための植林

Photo Gallery

いわての復興教育とは、郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、各学校の教育活動を通して、【いきる】【かかわる】【そなえる】という3つの教育的価値を育てることです。その方針の下、各学校でさまざまな復興教育が行われています。



盛岡市立城北小学校【そなえる】／緊急地震速報を活用した避難訓練

岩泉町立小本小学校【かかわる】／社会科の授業での「小本の街づくりシンポジウム」





花巻市立石鳥谷中学校【かかわる】／陸前高田市でボランティア



県立盛岡工業高等学校【かかわる】／被災地の自転車修理





九戸村立戸田小学校【いさる】／震災学習列車で野田村へ



大船渡市立赤崎小学校【かかわる】／学校間交流での赤小ソーラン

県立葛巻高等学校【かかわる】／砂浜に埋まったがれきの撤去





県立花北青雲高等学校【かかわる】／園児たちとクリスマスツリーの製作



田野畑村立田野畑中学校【かかわる】／学校間交流での復興太鼓

岩手県教育委員会
東日本大震災津波
記録誌

未来へ

いわての教育・復興の歩み

つなぐ

Photo Gallery



久慈市立宇部中学校【かかわる】／山田町でボランティア

はじめに



平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波から3年が経過しました。東日本大震災津波は岩手県内の多くの尊い命や大切なものを奪い、多くの県民が不自由な避難所生活を強いられる未曾有の大災害となりました。

教育現場においても幼児児童生徒及び教職員合わせて98人が死亡、19人が行方不明となるなど、かけがえのない多数の人命を失ったことは痛恨の極みでした。ここに、改めて犠牲になった幼児児童生徒、教職員の御冥福をお祈り申し上げます。

沿岸部では大津波により学校施設をはじめ、社会教育施設、文化財等にも壊滅的な被害が生じ、仮校舎での学校生活を余儀なくされた学校も多数生じました。避難所となった学校においては、学校と避難所が共存する異例の状態の中、教職員をはじめ児童生徒も協力して避難所運営に携わり苦難の時期を乗り越えました。

また、その年の卒業生は卒業式の十分な準備が整わない状況の中、避難者に見守られながら巣立って行きました。児童生徒には一生心に残る卒業式となったのではないかと思いますし、まさに地域があつての学校だと改めて感じさせられました。

児童生徒・地域住民の命や生活を守るために献身的に不眠不休で働いた教職員は岩手の誇りです。

震災直後より全国各地の皆様方から厚い御支援をいただき、本県の教育現場も着実に復興に向け足取りを進めています。しかしながら、3年が経過する現在においても仮設校舎、他施設の間借りの状態は改善されておらず、また、児童生徒・教職員の心のケアなど長期的な諸課題が山積しています。

岩手県教育委員会 東日本大震災津波 記録誌

そのような中で、発災からこれまで岩手県教育委員会が行ってきた本県の教育の復興に向けた取り組みを記録として残すとともに、その教訓を後世に伝えることは大きな責務と感じております。

震災以後、岩手県教育委員会は教育の復興に向け、岩手の復興教育プログラムの作成や、津波により親を亡くした児童生徒等の修学を支援するための「いわての学び希望基金」の創設など様々な取り組みを行って参りました。

復興に向けた取り組みとしてはまだまだ不十分ですが、発災後の教職員の人事異動の凍結や長い歴史をもつ「教育振興運動」の財産である学校・家庭・地域の連携の力などによって確実に復興に向けて歩んでいます。

この度、市町村教育委員会や各学校の先生方の御協力を得て本誌を発行することができました。表紙の文字「つなぐ」には震災の教訓を後世へ語り継ぐ、被災した方々を支えたたくさんのつながりに感謝するなどの意味が込められております。県内の教育関係者はもちろんのこと全国の都道府県及び市町村の教育関係者の方々、行政機関や大学等研究機関の方々等にも広く御覧いただきたいと思い、岩手県のホームページにも掲載いたしました。

本誌が全国の教育現場における防災機能や防災教育の一助として御活用いただければ幸いです。

平成26年3月

岩手県教育委員会委員長

八重松 隆

～ 教訓を後世に・岩手の教育～

岩手県教育委員会 東日本大震災津波 記録誌

第1章 東日本大震災津波による被害状況

1 震災津波の概要及び県内の被害状況

(1) 地震の概要	014
(2) 県内の被害状況	015

2 教育関係の被害状況

(1) 人的被害状況	018
(2) 物的被害状況	020

第2章 災害応急対応の取組～震災津波発生時から学校再開まで～

1 発災後の初期対応

(1) 県教育委員会の対応	032
(2) 市町村教育委員会の対応	040
寄稿 1 「生かされて明日へ ～学校再開に向けた山田町教育委員会の取組の概要～」 山田町教育委員会	042
(3) 学校の対応	044
事例 1 釜石市立釜石東中学校 2 陸前高田市立気仙中学校	046

2 避難場所等になった教育施設における取組

(1) 避難場所等としての教育施設	050
(2) 学校の対応	051
事例 3 宮古市立宮古小学校 4 陸前高田市立第一中学校 5 県立大槌高等学校	056
(3) 学校以外の教育施設の対応	062
事例 6 県立陸中海岸青少年の家	063

3 学校再開に向けた取組

(1) 県教育委員会の取組	066
事例 7 県共同実習船「りあす丸」(県立宮古水産高等学校)	071
(2) 市町村教育委員会の取組	072
寄稿 2 「学校再開に向けた陸前高田市教育委員会の取組の概要」 陸前高田市教育委員会	074
(3) 学校の取組	076
事例 8 雫石町立南畑小学校 9 釜石市立鶴住居小学校	080

4 児童生徒への支援

(1) 学用品等の支援	084
(2) 就学への対応と学費の援助	085
(3) 通学手段確保のための取組	088
(4) いわて子どものこころのサポートチームの取組	092
寄稿 3 「いわて子どものこころのサポートプログラム」 いわてこどもケアセンター 臨床心理士 三浦光子	093
(5) 学校給食再開への取組	095
(6) 被災により昼食等を用意できない生徒への対応	096

目次

5 教職員への対応と人的体制への取組	
(1) 教職員の定期人事異動の見直し	097
(2) 教員加配定数措置	098
(3) 給与制度等の対応	100
(4) 教職員の居住環境の確保	101
(5) 教職員の健康管理と心のケア	103
(6) 教員研修	105
寄稿 4 「沿岸部の先生方を対象としたリフレッシュ研修」 文部科学省 国立教育政策研究所 総括研究官 山森光陽	106
6 学校施設の応急復旧に向けた取組	
(1) 仮校舎の確保と応急復旧(県立学校)	108
(2) 安全点検と応急措置(市町村立学校)	110
寄稿 5 「被災した学校等への対応」 盛岡市教育委員会	114
7 国や他の自治体等からの支援	
(1) 国からの支援	116
(2) 他の自治体等からの支援	117
(3) NPO等諸団体からの支援	119
寄稿 6 岩手県高等学校教職員組合 7 岩手県教職員組合 8 認定NPO法人国境なき子どもたち 9 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	121
第3章 災害復旧・復興に向けた取組～学校再開から平成24年度末まで～	
1 復興に向けた県、県教育委員会の主な取組	126
2 きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実	
(1) 教育活動の円滑な実施に向けた工夫	132
事例 10 山田町立山田南小学校 11 大槌町立吉里吉里中学校 12 県立山田高等学校	136
(2) 放射線対策等	142
寄稿 10 「学校再開と放射線対応」 一関市教育委員会	146
(3) 学校施設の復興への取組	148
事例 13 県立宮古工業高等学校	156
(4) 防災機能・応急避難所機能の強化	158
事例 14 大船渡市立越喜来小学校	161
寄稿 11 「学校の防災拠点としての役割と課題」 東京学芸大学 教授 佐々木幸寿	163
3 文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承	
(1) 文化芸術施設の復興	166
(2) 文化芸術活動の復興への取組	167
(3) 文化財レスキューの取組	168
(4) 埋蔵文化財調査の推進	170
寄稿 12 「文化芸術活動の復興への取り組み」 公益財団法人 岩手県文化振興事業団	171

4 社会教育・生涯学習環境の整備	
(1) 社会教育・生涯学習施設の復興	173
(2) 社会教育・生涯学習活動の復興への取組	174
寄稿 13 「大規模自然災害における子ども支援モデル」 岩手県立大学 准教授 山本克彦	180
5 スポーツ・レクリエーション環境の整備	
(1) 社会体育施設の復興	183
(2) スポーツ・レクリエーション活動の復興への取組	185
寄稿 14 「スポーツで心と健康を支援する」 公益財団法人 岩手県スポーツ振興事業団	188
寄稿 15 「スポーツ環境の復興へ向けた取り組み」教育委員会、大学、NPO等が協働していた事業から- 岩手大学 教授 浅沼道成	190
(3) 運動部活動に対する支援	192
(4) インターハイ等開催に係る調整	193

第4章 教育の復興に向けた中長期的な取組

1 いわての学び希望基金を活用した取組	
(1) 奨学金の給付	199
(2) 教科書購入費等の給付	200
(3) 文化活動に対する支援	200
(4) 運動部活動に対する支援	200
2 幼児児童生徒の心のサポート	
(1) 人的支援等	202
(2) 教員研修	204
(3) 心とからだの健康観察	206
寄稿 16 「幼児児童生徒のこころのサポート」 兵庫教育大学 大学院 教授 冨永良喜	209
3 「いわての復興教育」の推進	
(1) 「いわての復興教育」プログラムの作成	212
(2) 「いわての復興教育」プログラム[改訂版]の作成	213
(3) 各学校の実践	213
平泉町立平泉小学校、大船渡市立越喜来小学校、野田村立野田中学校、九戸村立長興寺小学校	
4 学校間支援等の取組	
事例 15 岩泉町立小本中学校	218
寄稿 17 岩手県小学校長会 18 岩手県中学校長会 19 岩手県高等学校長協会	220

目次

第5章 資料編

1 教育施設等の被害状況	
(1) 学校施設	230
(2) 文化芸術施設	250
(3) 社会教育施設	251
(4) 社会体育施設	257
(5) 国指定・登録、県指定文化財	261
2 避難場所等になった教育施設の状況	
(1) 学校	265
(2) 学校以外の教育施設	270
3 学校の再開状況	
(1) 県立学校(分校、定時制・通信制、分教室等を含む)	275
(2) 市町村立学校	275
4 支援団体一覧	
(1) 物的支援	278
(2) 人的支援	279
(3) 招待・訪問	279
5 国への要望	
(1) 政府への要望等	280
(2) 文部科学大臣への要望等	280
(3) 文部科学大臣への要望内容	281
6 教育の復旧・復興に向けた歩み	289